

『クルツワイル–ヘンストック積分入門
 ——積分論へのやさしい統一的アプローチ』正誤表
 2022年3月23日

初刷（令和4年1月30日発行）の正誤表

場所	誤	正
p.40, 下から10行目	であるとき, $f: I \rightarrow \mathbb{R}$ は	であるとき, <u>可積分関数</u> $f: I \rightarrow \mathbb{R}$ は
p.67, 上から5行目	を設けねばならないが,	を設けねばならないが (これはルベーグ積分でも同様),
p.96, 下から5行目	ライプニッツ・ルールを起用して,	ライプニッツ・ルールを適用して,
p.132, 下から6行目	$(E_k, \mathbb{R}^N$ を	$\mathbb{R}^N \supset E_k$ を
p.160, 上から10行目	$\mu\{\sigma^{-1}(\sigma(U_k \cap \partial I))\}$	$\mu\{\tilde{\sigma}^{-1}(\sigma(U_k \cap \partial I))\}$
p.231, 下から3行目	∂M の向き付けは ∂M より誘導されたものとする	∂M の向き付けは M より誘導されたものとする
p.241, 下から10, 9行目	直線 $\{(x, 0, 1/2): x \in \mathbb{R}\}$ の	直線 $\{(x, 0, 1/2): x \in \mathbb{R}\}$ の (改行しない)